

国語科	論理国語	3単位
3学年	人間経済コース	

1. 授業の目標

- (1) 近代以降の文学作品や評論を読んで、作品を正しく理解し、思考力を伸ばし心情を豊かにする。
- (2) 進んで表現し読書することによって、人生を豊かにする態度を育てる。
- (3) 定期考査の平均点が60%以上になるように、日々の授業はもちろんのこと、試験前の準備や、授業前の予習・復習も積極的に行う。

2. 授業内容

- (1) 論理的な文章について、文章の構成や展開に注意して筆者の論の進め方や強調点をとらえ、要約したり、詳述したりする力を養う。
- (2) 文学的文章について、文章に描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わう。
- (3) 副教材「トータルポータル新国語便覧」を用いて、作者や作品の背景に迫り、多角的な読解を目指す。
- (4) 副教材「チャレンジ常用漢字」「高校生必修語彙ノート」を用いて全20回の小テストを行い、受験に必要な語彙力を養う。

3. 成績評価

- (1) 前期・後期の評価は、中間考査・期末考査・小テストなどの結果、問題演習への取り組み方、授業中における発表・話し合いなどの発表内容・参加状況、振り返りをしながら学びに向かう姿勢など、統合して判断する。【主体的に学習に取り組む態度】
- (2) 年間の評価は、前期・後期の成績を統合して行い、さらに下記の観点を加えるものとする。
 - ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。【知識及び技能】
 - ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握できる。【思考力・判断力・表現力等】
 - ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理をして、目的や糸に応じた適切な題材を決めることができる。【思考力・判断力・表現力等】

4. 使用教科書

教科書	東京書籍 『精選論理国語』
副教材	大修館書店 『トータルポータル新国語便覧』
	東京書籍 『精選論理国語 学習課題ノート』
	桐原書店 『高校生必修語彙ノート』
	第一学習社 『チャレンジ常用漢字 漢検級別対応』

5. 小テスト実施計画 「チャレンジ常用漢字」「高校生必修語彙ノート」

	4月	5月	6月	7月	8、9月
常用漢字	準2級第1回	準2級第2回	準2級第3回	準2級第4回	準2級第5回
語彙ノート	標準・小説①②	標準・小説③④	標準・小説⑤⑥	標準・評論①②	標準・評論③④
	10月	11月①	11月②	12月	1月
常用漢字	準2級第6回	準2級第7回	準2級第8回	準2級第9回	準2級第10回
語彙ノート	標準・評論⑤⑥	カタカナ語①～③	四字熟語	発展・小説①②	発展・小説③④

6. 年間学習計画

月	授 業 内 容	問 題 演 習
4	オリエンテーション ＜言語＞ 「混じり合う言葉」 ドミニク・チェン ＜時間＞ 「鏡の中の現代社会」 見田宗介	「精選論理国語学習課題ノート」 「精選論理国語学習課題ノート」
5	前期中間考査	
	＜情報＞ 「おじいさんのランプ」 宇野常寛	「精選論理国語学習課題ノート」
6	前期期末考査	実力問題
7	＜身体＞ 「読み書きする身体」 港千尋 【夏季休業】	「精選論理国語学習課題ノート」
8	＜哲学＞ 「ロボットは意志を持つか」 野矢茂樹	「精選論理国語学習課題ノート」
9	＜共同体＞ 「社会の壊れるとき —知性的であるとはどういうことか」 鷺田清一	「精選論理国語学習課題ノート」
10		実力問題
	後期中間考査	
11	＜社会＞ 「サッカーにおける『資本主義の精神』」 大澤真幸	「精選論理国語学習課題ノート」
12	【冬季休業】	
1	＜論理＞ 「抗争する人間」 今村 仁司	「精選論理国語学習課題ノート」
	卒業考査	実力問題
2		※「チャレンジ常用漢字」 全9回小テストを実施する。
3		

地 歴 科	地 理 総 合	2 単 位
第 3 学 年	人 間 経 済 コ ー ス	

<授業目標>

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

1年間のみ履修であるが、地理的認識を理解するだけでなく、地理的考察力も身に付けさせる。

<授業内容>

第1部 地図でとらえる現代社会

「地図と地理情報システム」「結びつきを深める現代世界」

第2部 国際理解と国際協力

「生活文化の多様性と国際理解」「地球的課題と国際協力」

第3部 持続可能な地域づくりと私たち

「自然災害と防災」「生活圏の調査と地域の展望」

講義を中心に授業を行い、地理的な基礎力の定着をはかる。視聴覚教材や白地図などを利用し授業を展開する。教科書と地図帳、地理総合ノートを使用しながら、作業的、体験的な学習も取り入れる。

<学習到達度>

単元ごとの確認テストでは、70%以上の得点率を目標とする。また、定期考査においては60%以上の得点率を目標とする。

<留意点>

- ・教科書、地図帳、地理総合ノートを授業中に忘れず持つてくること。
- ・配布されたプリントや試験は必ずファイルして保存すること。

<成績評価>

定期考査、小テスト、授業態度、出席状況、課題提出等すべての学習活動を総合して、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に取り組む態度」の3観点別に5段階で評価する。

<使用教材>

	書 名	発 行 所
教 科 書	高等学校 新地理総合	帝国書院
	高等地図帳	二宮書店
副教材	高等学校新地理総合ノート	帝国書院

<年間計画>

月	週	授 業 内 容
4	1	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム (地球上の位置と時差)
	2	第1章 地図と地理情報システム (地球上の位置と時差)
	3	第1章 地図と地理情報システム (地図の役割と種類)
5	4	第1章 地図と地理情報システム (地形図の利用)
	5	第1章 地図と地理情報システム (統計地図の種類と利用)
	6	第1章 地図と地理情報システム (地理情報システムの活用)
	7	前期中間考査
6	8	第2章 結び付きを深める現代世界 (現代世界の国家と領域)
	9	第2章 結び付きを深める現代世界 (現代世界の国家と領域)
	10	第2章 結び付きを深める現代世界 (グローバル化する世界)
	11	第2章 結び付きを深める現代世界 (グローバル化する世界)
	12	第2章 結び付きを深める現代世界 (グローバル化する世界)
7	13	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の地形と人々の生活)
	14	前期期末考査
	15	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の地形と人々の生活)
8	夏季休業	
	16	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の地形と人々の生活)
9	17	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の地形と人々の生活)
	18	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の地形と人々の生活)
	19	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の気候と人々の生活)
	20	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の気候と人々の生活)
10	21	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の気候と人々の生活)
	22	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の気候と人々の生活)
	23	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (世界の気候と人々の生活)
	24	第2章 地球的課題と国際協力 (地球環境問題)
11	25	第2章 地球的課題と国際協力 (地球環境問題)
	26	第2章 地球的課題と国際協力 (資源エネルギー問題)
	27	後期中間考査
	28	第2章 地球的課題と国際協力 (人口問題)
12	29	第2章 地球的課題と国際協力 (人口問題)
	30	第2章 地球的課題と国際協力 (都市・居住問題)
	31	第2章 地球的課題と国際協力 (都市・居住問題)
	冬季休業	
1	32	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 (日本の自然環境)
	33	第1章 自然環境と防災 (地震・津波と防災)
	34	第1章 自然環境と防災 (火山災害と防災)
	35	第1章 自然環境と防災 (気象災害と防災)
2	36	第1章 自然環境と防災 (自然災害への備え)
	37	第2章生活圏の調査と地域の展望 (地理的な課題と地域調査)
	38	第2章生活圏の調査と地域の展望 (現地調査の準備)
3	39	学年末考査
	40	第2章生活圏の調査と地域の展望 (現地調査の実施)
	41	第2章生活圏の調査と地域の展望 (現地調査の分析と発表)

数学科	数学Ⅱ（3単位）	3単位
第3学年	商業科 人間経済コース	

（授業目標）

- ・事象を数学的に考察し、処理する能力を高める。
- ・数学的なものの見方や考え方の良さの認識を通して、日常生活や社会生活において数学を積極的に活用する態度を育てる。
- ・原理・法則の理解を深め、経済・情報系大学進学に向け、幅広い知識や資格を身に付ける基盤作りを行う。

（授業内容）

- ・副教材を使用して基本問題の反復練習を積極的に行い、確実に理解定着させる。
- ・数学的な見方や考え方を理解することで、物事を多方面から分析し、必要な情報を取り入れる能力を養う。

（成績評価）

- ・考査はコース毎に共通問題とする。
- ・成績評価については、コース毎に概ね共通評価とする。考査成績、授業態度、課題の提出状況等を勘案して、総合的に評価する。
- ・表・式・グラフなどを用いて数量の関係を数学的に表現し、自らの考えを他者に伝える活動を総合的に評価する。

数学Ⅱの評価のポイント

〈関心・意欲・態度〉

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えの考え方に興味をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしているかをワークシートへの取り組みやノートの記述内容等で見ると見る。

〈数学的な見方や考え方〉

事象を数学的に考察し表現したり思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける数学的な見方や考え方を身に付けているかをレポート、質問、小テスト、考査等で見ると見る。

〈数学的な技能〉

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているかを課題テスト、小テスト、考査で見ると見る。

〈知識・理解〉

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けているかを生徒同士の相互評価やレポート、質問、小テスト、考査等で見ると見る。

(使用教材)

使用教材	書名	発行所
教科書	新編数学Ⅱ	第一学習社
副教材	ネオパル数学Ⅱ	第一学習社

(3年間の履修展開)

1 学年	2 学年	3 学年
数学Ⅰ (3)	数学A (2)	数学Ⅱ (3)

(学習方法)

①「受身の姿勢」でなく、自らが積極的に取り組むこと。

- ・授業においては、黒板で説明を受けただけで出来るようになったと錯覚しがちである。

しかし、それは解答の仕方が書いてあるからであって、実際に問題を解くうえでなかなか解答に結びつかない場合が多いのが現状である。その現状を打破し数学が出来るようになるためには、やはり家庭学習における反復練習が必要である。つまり、学習効果を高めるためには、復習が大切な要素となりうる。

②将来の進路に向けて

- ・目標をもって努力し続ければ、夢は実現できるものと信じ、高い目的意識をもって問題を解いていこう。解けない問題を解こうとする姿勢が、将来の起業家の原点となる。時代を切り拓くニューリーダーを目指し、日々の学習に取り組もう。

(数学Ⅱ)

月	単元名	授業内容
4	第1章 式と証明	多項式の除法、 分数式とその計算 恒等式
5		等式の証明 不等式の証明
	第2章 複素数と方程式	複素数 2次方程式の解法と判別式
前期中間考査		
6		解と係数の関係 剰余の定理と因数定理
前期期末考査		
7		高次方程式
	第3章 図形と方程式	直線上の点、平面上の点 直線の方程式、2直線の関係 円の方程式 円と直線
夏期休業中課外 課題テスト		
9		軌跡と方程式 不等式の表す領域
	第4章 三角関数	一般角と弧度、三角関数 三角関数の性質、三角関数のグラフ 三角関数の応用 加法定理、加法定理の応用 $a\sin\theta + b\cos\theta$ の変形
10	第5章 指数関数と 対数関数	指数の拡張 指数関数 対数とその性質 対数関数、常用対数
11	第6章 微分法・積分法	微分係数、導関数 接線
後期中間考査		
12		関数の増減と極大・極小 最大値・最小値
冬季休業中課外		
1		関数のグラフと方程式・不等式、不定積分 定積分、面積
卒業考査		

保健体育科	体 育	3単位
第3学年	人間経済コース	

[授業目標]

本校における体育授業の目標は、各種の身体活動を通して運動技能を高め、心身共に健康で生涯にわたり運動に親しめる態度を養うことである。

[授業内容・種目]

【 集団行動 】… 集団の約束やきまりを守り、機敏かつ的確に行動する。

- ・ラジオ体操第一（準備体操として通年実施する）
- ・全体行進、番号のかけ方、列の増減などを行う。

【 バドミントン 】

- ・基本となるクリアーが正確に打てるようにする。
- ・応用技術 ドライブ・スマッシュ・ドロップなどの各種ショットが打ち分けられるようにする。
- ・シングルス、ダブルスそれぞれのルールを理解し、ゲームと審判ができるようにする。

【 ハンドボール 】

- ・いろいろな体勢から正確にパスを投げ、また正確にキャッチができるように練習する。
- ・動きの中でパス、キャッチ、シュートの一連の動作がスムーズに行えるようにする。
- ・ゴールキーパーとの連携、チーム戦術を習得しレベルの高い試合ができるようにする。

【 フットサル 】

- ・基本技術であるドリブルとリフティングが正確にできるようにする。
- ・パスとトラッピング 2対1、3対2など動きの中で的確にプレーが行えるようにする。
- ・シュートとコンビネーションプレーをできるようにする。
- ・ルールを理解し、ゲームと審判ができるようにする。

【 ソフトバレー 】

- ・基本姿勢から場面に応じてそれぞれのパスの球質を使い分ける。
- ・ポイントに結びつくような球質のサービスを身につける。
- ・スパイカーに打ちやすいトスを上げられるようにする。
- ・それぞれの技能を習得した段階でゲームを楽しむ。

【 バスケットボール 】

- ・基本技術 パス、ドリブル及び正確なシュートを体得する。
- ・2対2、3対3のコンビネーションプレーを習得する。
- ・ゲームを通してバスケットのルール・審判法を身につける。

【 体育理論 】

- ・体ほぐしの考え方 ・体ほぐしの運動のおこない方
- ・運動と体力 ・体力トレーニングの目的
- ・トレーニングプログラムの作成 ・目的別にみた体力トレーニングの方法①・②
- ・運動によるけが・病気の予防

[授業の留意点]

- 見学希望者は授業開始前に担当教員の許可を得ること。また見学中はジャージを着用すること。
- 個人のジャージ・シューズ等は大切に管理し、貸し借りをしないこと。
- 体育用具・備品は大切に扱うこと。

[成績評価]

【知識・技能】 ・各領域、各種目の運動の特性を理解し、運動の技術（技）の名称や行い方等、段階に応じた技能を身につけているか。 ・スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について理解しているか。

【思考・判断・表現】 ・効果的な練習方法を理解し、実践しているか。 ・各種目で戦術、課題解決方法を理解しているか。

【主体的に取り組む態度】 ・公正、協力、責任などの態度を身につけているか。

- ・健康、安全に留意して自ら率先して楽しみながら運動しようとしているか。

以上の観点を踏まえ、授業の取り組み（授業態度や学習活動への参加状況）などから総合的に判断する。

＜ 年間計画 ＞

月	授 業 内 容	
	男 子	女 子
4	【集団行動】 ・集合隊形 列の整頓 開列 番号 ・列の増減 方向変換 行進 駆け足 ・ラジオ体操第一	【集団行動】 ・集合隊形 列の整頓 開列 番号 ・列の増減 方向変換 行進 駆け足 ・ラジオ体操第一
5	【バドミントン】 ・単元の説明 ・グリップとフットワーク	【ハンドボール】 ・単元の説明 ・キャッチボールとパス ・シュート練習 ジャブシュート ステップシュート
前 期 中 間 考 査		
6	・クリアの打ち方 ・各種ショットとサービス ・ゲームと審判法 (シングルス・ダブルス)	・オフェンス カットイン・クロス・ブロックプレー ・ディフェンス フットワーク シュートカット・ ゴールキーピング ・ゲームと審判法
前 期 期 末 考 査		
7	【フットサル】 ・単元の説明 ・基本技術 リフティング ドリブル キック トラッピング	【ソフトバレー】 ・単元の説明 ・パス練習 直上トス オーバーハンドパス アンダーハンドパス
【体育理論】 ・体のほぐしの考え方 ・体のほぐしの運動のおこない方 ・運動と体力 ・体力トレーニングの目的		
夏 季 休 業		
8	・トレーニングプログラムの作成 ・目的別にみた体力トレーニングの方法①・② ・運動によるけが ・病気の予防	
9	・シュートとコンビネーション ・ゴールキーピング ・ゲームと審判法	・スパイクブロック ・サブとレシーブ ・チームプレーとローテーション ・ゲームと審判法
10	【バスケットボール】 ・単元の説明 ・パス練習 ・ドリブル練習	【ソフトテニス】 ・単元の説明 ・ラケットの握り方 ・ラケットを使ったボールゲーム
11	・動きの中でのパス、ドリブル ・シュート ドリブルシュート セットシュート	・基本的な打法 ①グラウンドストローク ②ボレー ③スマッシュ ④サービス
後 期 中 間 考 査		
・ゲームと審判法		・ゲームと審判法 (シングルス・ダブルス)
12	【ソフトバレー】 ・単元の説明 ・パス練習 直上トス オーバーハンドパス	【バスケットボール】 ・単元の説明 ・シュート ドリブルシュート セットシュート
冬 季 休 業		
1	アンダーハンドパス ・スパイクブロック・サブとレシーブ ・ゲームと審判法	・シュート ドリブルシュート セットシュート ・コンビネーションプレー ・ゲームと審判法
卒 業 考 査		
2		
3		
学 年 末 休 業		

英語科	英語コミュニケーションⅡ	4単位
3学年	人間経済コース	

<授業目標>

1. 説明文、物語文、伝記、日記、エッセイ等さまざまな英文を読み、英語を積極的に読む態度を養う。
2. 英単語、熟語など語彙力の増強を図り、英文法、語法、構文など、英文の構造に対する理解を深める。
3. 多種多様な英文を読み、その中で異文化を理解し尊重する態度を養う。
4. 全商英語検定1級合格を目標とする。

<授業内容>

1. 2年次までの既習事項を再確認し、スラッシュリーディング・パラグラフリーディングを中心に展開する。
2. 大きく文脈を捉えることを前提として、各パラグラフ、パート毎に読み進めていく。
3. 単語力、熟語力を養成するために小テストを実施する。

<使用教材>

教材名	書名	出版社
教科書	Power On English Communication II	東京書籍
副教材	Enjoy ドリルで英文法	美誠社

<成績評価>

評価の観点			
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
英文の内容に関心を持ち、積極的に理解することができる。 周囲と積極的に英語で意見交換をすることができる。	本文の内容を、学習事項を用いて英文で再現することができる。 内容に関して、感想や意見を伝え合うことができる。	本文の内容についての質問に英語で答えることができる。	文法事項を理解し、適切に使用することができる。 意味の区切りを意識し、相手が理解しやすいように音読することができる。

<3年間の履修展開>

1年次:英語コミュニケーションⅠ
↓
2年次:英語コミュニケーションⅡ
↓
3年次:英語コミュニケーションⅡ

<探求学習> 随時実施予定

<年間計画>

月	週	学習内容
4	1	Lesson6 New Banknotes キャッシュレス社会について賛成・反対両方の意見をまとめ、発表する
	2	Lesson6 New Banknotes キャッシュレス社会について賛成・反対両方の意見をまとめ、発表する
	3	Lesson6 New Banknotes キャッシュレス社会について賛成・反対両方の意見をまとめ、発表する
5	4	Lesson6 New Banknotes キャッシュレス社会について賛成・反対両方の意見をまとめ、発表する
	5	Lesson6 New Banknotes キャッシュレス社会について賛成・反対両方の意見をまとめ、発表する
	6	Lesson6 New Banknotes キャッシュレス社会について賛成・反対両方の意見をまとめ、発表する
	7	前期中間考査
6	8	Lesson 7 Some Secrets about Colors 色の心理的効果を考慮して、部屋の壁の色について提案をする
	9	Lesson 7 Some Secrets about Colors 色の心理的効果を考慮して、部屋の壁の色について提案をする
	10	Lesson 7 Some Secrets about Colors 色の心理的効果を考慮して、部屋の壁の色について提案をする
	11	Lesson 7 Some Secrets about Colors 色の心理的効果を考慮して、部屋の壁の色について提案をする
7	12	Lesson 7 Some Secrets about Colors 色の心理的効果を考慮して、部屋の壁の色について提案をする
	13	前期期末考査
	14	Lesson 7 Some Secrets about Colors 色の心理的効果を考慮して、部屋の壁の色について提案をする
8	15	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem ある製品の詳細を説明しながら、製品を紹介する
	16	夏季休業
9	17	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem ある製品の詳細を説明しながら、製品を紹介する
	18	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem ある製品の詳細を説明しながら、製品を紹介する
	19	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem ある製品の詳細を説明しながら、製品を紹介する
	20	Lesson 9 Flying after Her Dreams 1900年頃のアメリカの女性の就労について質問を考え、ペアでインタビュー活動を行う
10	21	Lesson 9 Flying after Her Dreams 1900年頃のアメリカの女性の就労について質問を考え、ペアでインタビュー活動を行う
	22	Lesson 9 Flying after Her Dreams 1900年頃のアメリカの女性の就労について質問を考え、ペアでインタビュー活動を行う
	23	Lesson 9 Flying after Her Dreams 1900年頃のアメリカの女性の就労について質問を考え、ペアでインタビュー活動を行う
	24	Lesson 9 Flying after Her Dreams 1900年頃のアメリカの女性の就労について質問を考え、ペアでインタビュー活動を行う
11	25	Lesson 10 To Work or Not to Work?:Humans and Robots 私たちの生活に役立つロボットを考案し、原稿とイラストを使って発表する
	26	Lesson10 To Work or Not to Work?:Humans and Robots 私たちの生活に役立つロボットを考案し、原稿とイラストを使って発表する
	27	Lesson10 To Work or Not to Work?:Humans and Robots 私たちの生活に役立つロボットを考案し、原稿とイラストを使って発表する
	28	後期中間考査
12	29	Lesson 10 To Work or Not to Work?:Humans and Robots 私たちの生活に役立つロボットを考案し、原稿とイラストを使って発表する
	30	Lesson 10 To Work or Not to Work?:Humans and Robots 私たちの生活に役立つロボットを考案し、原稿とイラストを使って発表する
	31	Optional Reading スピーチ 最年少で UNHCR 親善大使に任命されたアスリートが世界に発信するメッセージを読む
	32	Optional Reading スピーチ 最年少で UNHCR 親善大使に任命されたアスリートが世界に発信するメッセージを読む
1	33	Optional Reading スピーチ 最年少で UNHCR 親善大使に任命されたアスリートが世界に発信するメッセージを読む
	34	Optional Reading スピーチ 最年少で UNHCR 親善大使に任命されたアスリートが世界に発信するメッセージを読む
	35	卒業考査

商業科	ソフトウェア活用	3単位
3学年	人間経済コース	

教科書	2年次に購入済み		
副教材	全商情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報1級 全商情報処理検定試験 模擬問題集 2級ビジネス情報編	(実教出版)	
評価	定期考査	ユニットテスト	資格取得 授業態度等

1. 学習のねらい

ビジネスの諸活動における情報の意義や役割を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する能力を身につけさせます。また、コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなどに関する基礎的な知識を習得し、目的に応じた機器の利用ができるようにします。そのために、表計算ソフトウェアやワープロソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアなども活用できるようにします。

2. 授業の進め方

講義と実習をバランスよく織り交ぜて授業を行い、深い知識の定着を図ります。また、副教材やプリントなどを使用した問題演習も定期的に行います。

3. 学習の留意事項

授業を通してプログラムを理解する能力を養い、その知識をソフトウェアの利用に生かせるようにします。また、その集大成として全員が全商情報処理検定試験を受験し、合格を目指します。検定試験の合格は、希望する進路実現への一助となります。

4. 評価基準

- ・全商情報処理検定基礎問題（1・2級）の習得状況
- ・全商情報処理検定応用問題（1・2級）の習得状況
- ・全商情報処理検定実技問題（1・2級）の習得状況
- ・実技および筆記問題の小テスト（ユニットテスト）の状況
- ・全商情報処理検定の結果
- ・授業及び問題演習に主体的に取り組む姿勢

各学期での定期試験や上記の評価点を基準に判定します。

5. その他

検定試験

全商情報処理検定 9月・1月

※受験級は進度状況や習熟度に合わせて決定します。

<年間計画> 3年用

月	週	授 業 内 容
4	1	ビジネスの情報化(道具としてのコンピュータと事務の効率化)
	2	社会の情報化 (情報処理の大衆化とシステム構築の変化)
	3	グループ別の集計～売上金額の計算 (ピボットテーブルを利用した集計)
5	4	最適化とシュミレート (ゴールシークやソルバーによる最適な解の検出)
	5	シュミレーション
	6	統計資料の分析 (分析ツールの利用)
	7	前期中間考査
6	8	統計資料の分析 (分析ツールの利用)
	9	統計資料の分析 (散布図とヒストグラムの作成)
	10	統計資料の分析 (散布図とヒストグラムの作成)
	11	回帰分析 (相関図・回帰分析とその利用)
7	12	回帰分析 (相関図・回帰分析とその利用)
	13	前期期末考査
	14	マクロの基礎 (マクロの作成と実行) マクロの基礎 (コマンドボタンの利用)
8	15	フォームとメニューの作成 (表とフォームの作成)
		夏季休業
9	16	夏季休業中課外 これまでの復習について実施
	17	データベースの目的と機能、リレーショナルデータベース
	18	データベースの目的と機能、リレーショナルデータベース
	19	データベースの概要と設計・正規化
10	20	データベースの概要と設計・正規化 全商情報処理検定試験
	21	データベースとテーブルの作成、リレーションシップの設定
	22	クエリ・フォーム・レポートの作成 (メインフォームとサブフォームの作成)
	23	クエリ・フォーム・レポートの作成 (メインフォームとサブフォームの作成)
11	24	メニューの作成 (マクロ作成と登録)
	25	システム開発の手順 (基本計画・外部設計・システムの移行・運用・保守)
	26	システム開発の手順 (基本計画・外部設計・システムの移行・運用・保守)
	27	後期中間考査
	28	入出力設計 (画面の設計・報告書の設計)
12	29	入出力設計 (画面の設計・報告書の設計)
	30	テーブルの作成とリレーションシップの設定
	31	ビジネス情報の分析と活用
	32	在庫情報による分析と活用・財務諸表の分析と活用
1		冬季休業
	33	ネットワークのハードウェアとソフトウェア
	34	データ保護とセキュリティ管理 全商情報処理検定試験
	35	卒業考査

商業	マーケティング	3単位
3学年	人間経済コース	

教科書	マーケティング			実教出版
副教材	マーケティング準拠問題集			実教出版
評価	定期考査	ユニットテスト	授業態度	提出物等

1. 学習のねらい

企業やその他の組織が提供する商品について、マーケティングに関する知識と技術を身につけるとともに、マーケティングの重要性について理解し、計画的、合理的なマーケティング活動ができるようにします。

2. 授業の進め方

教科書に偏ることなく、テーマによっては社会情勢を踏まえて新聞・ニュース等の内容を織り交ぜながら、興味関心を持たせて授業を行います。

3. 学習の留意事項

週3時間の中で、総合的・体系的に学習できるように努め、また、適宜社会情勢をふまえて教科書の内容に適した時事問題を取り入れながら、指導を行います。常に日常生活における経済問題に対し、疑問や関心をもって授業に参加することが望ましいです。

4. 評価基準

教科書や時事問題・ニュース等の内容が理解できているか。
教科書や時事問題・ニュース等の内容に対して、自分の考えを述べたり、まとめたりすることができるか。
教科書や時事問題・ニュース等の内容に対する他人の考えに対して、自分の考えを述べるることができるか。

5. その他

検定試験
2月 全商 商業経済検定試験
※希望者が受験します。

<年間計画> 3年用

月	週	授 業 内 容
4	1	マーケティングの概要（歴史と発展）
	2	（現代の市場とマーケティング）
	3	（マーケティング環境の分析）
5	4	（マーケティング・マネジメント）
	5	消費者行動の理解（消費者の心理と行動の関係）
	6	（購買意思決定過程）
	7	前期中間考査
6	8	（消費者行動に影響を与える要因）
	9	市場調査（市場調査の概要）
	10	（市場調査の手順）
	11	（仮説検証の手順）
7	12	（実態調査の方法）
	13	前期期末考査
	14	STP（セグメンテーション）
	15	（ターゲティング）
8	夏季休業	
	16	（ポジショニング）
9	17	製品政策（製品政策の概要）
	18	（新製品開発）
	19	（販売計画と生産計画）
	20	（製品政策の動向）
10	21	価格政策（価格政策の概要）
	22	（価格の設定方法）
	23	（価格政策の動向）
	24	チャネル政策（チャネル政策の動向）
11	25	（チャネルの選択と管理）
	26	（チャネル政策の動向）
	27	プロモーション政策（プロモーション政策の概要）
	28	後期中間考査
	29	（プロモーションの種類）
12	30	（プロモーション政策の動向）
	31	マーケティングのひろがり（さまざまなマーケティング戦略，サービス・マーケティング）
	32	（小売マーケティング，観光地マーケティング）
	冬季休業	
1	33	（グローバル・マーケティング）
	34	（ソーシャル・マーケティング）
	35	卒業考査

商 業	課 題 研 究	4 単 位
3 学 年	人 間 経 済 コ ー ス	

教 科 書	な し		
副 教 材	な し		
評 価	資 格 取 得	探 求 発 表	授 業 態 度 ・ 提 出 物 等

1. 学習のねらい

これまで商業の各科目で学習したビジネスの基礎的・基本的な学習の上に立って、知識や技術を総合的に活用し探求学習における課題の解決を図り、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てます。また、グループによる学びから、対話による問題解決や思考力・判断力・表現力等を育成します。

進路決定を目標とし、生徒自ら課題を設定してその解決を図ります。また、その課題学習を通して、理解を深め応用性のある知識や技術及び経験を身に付け、それを将来活用することのできる能力を養います。

2. 授業の進め方

探求発表に向けた調査、パワーポイントを活用したプレゼンテーション資料の作成・発表
各種検定対策
進路対策（面接対策、志望理由書の作成、小論文対策、時事問題対策等）

3. 学習の留意事項

探求発表に向けて、グループ（2～3名）の形成を行い、研究テーマの設定をすることで、調査内容の精選をさせながら、調査・研究の指導を行います。実際に現地調査を実施したり、関係機関に意見を求めたりすることで、発表内容をまとめ、その発表内容に即してプレゼンテーション資料の作成をするなかで、それぞれのグループの意向にそって、より分かりやすく効果的なプレゼンテーションの指導をします。

資格取得の取り組みについて、目標を立てさせ、個々の生徒の特性に応じた種類やレベル、日程に合わせた効率の良い学習方法を指導します。面接は、全体指導から個々の進路に合わせた指導へと柔軟に対応します。

4. 評価基準

探求発表及び調査・研究への取り組み状況
各種検定に向けた取り組み及び取得状況
進路に向けた取り組み状況

5. その他

検定試験

6 月	全商簿記実務検定試験
7 月、11 月	全商ビジネス文書実務検定試験
9 月、1 月	全商情報処理検定試験

※受験級は進度状況や習熟度によって決定します。

<年間計画> 3年用

月	週	授 業 内 容
4	1	課題探求発表のグループ、テーマの設定に向けた取り組み
	2	テーマに即した調査・研究に向けた取り組み
	3	テーマに即した調査・研究に向けた取り組み
5	4	テーマに即した調査・研究に向けた取り組み
	5	テーマに即した調査・研究に向けた取り組み
	6	テーマに即した調査・研究に向けた取り組み
	7	調査・研究に即したプレゼンテーション資料の作成に向けた取り組み
6	8	調査・研究に即したプレゼンテーション資料の作成に向けた取り組み
	9	調査・研究に即したプレゼンテーション資料の作成に向けた取り組み
	10	探求発表に向けた取り組み
	11	探求発表に向けた取り組み
7	12	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	13	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
8		夏 季 休 業
	14	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
9	15	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	16	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	17	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	19	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
10	20	ビジネス文書実務検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	21	ビジネス文書実務検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	22	ビジネス文書実務検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	23	ビジネス文書実務検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	24	ビジネス文書実務検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
11	25	ビジネス文書実務検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	26	ビジネス文書実務検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	27	ビジネス文書実務検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	28	各自の進路に向けた取り組み
12	29	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	30	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	31	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	32	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
		冬 季 休 業
1	33	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	34	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み
	35	情報処理検定対策（各自の受験級に向けた取り組み） 各自の進路に向けた取り組み

商 業	ネットワーク活用	3 単位
3 学年	人間経済コース	

教 科 書	ネットワーク活用	
評 価	資格取得	授業態度・提出物等

1. 学習のねらい

インターネットを効果的に活用したビジネスの創造と活性化に取り組むために、必要な資質と能力を身につけられるようにします。

商業活動に必要な商業文書・電卓・商業デザイン等に関する知識と技術を習得し、機器の操作に習熟するとともに、上記に関する情報を経営活動に役立てる能力を養います。また、将来、社会人として、いろいろな部門の業種・業務に従事する者にとって必要な文書処理に関する知識を習得します。

2. 授業の進め方

実習を中心とした授業を通して、文書作成ソフトウェアの使い方や文書の種類などを理解すると共に、多様な機能を用いながら創意工夫をもって効果的に文書を作成し、処理する能力と技術を身につけます。

3. 学習の留意事項

技術の習得をするには、反復練習が必要であるため、実技を中心にした学習を通して、文字入力のスPEEDを習得させます。また、実技指導の中から文書作成ソフトウェアについての機能や基礎知識の習得をさせるようにします。

4. 評価基準

速度問題の結果及び取り組み状況
 文書問題の結果及び取り組み状況
 筆記問題の理解及び取り組み状況
 資格取得の状況（速度・文書・筆記）

5. その他

検定試験

全商ビジネス文書実務検定 7月、11月

※受験級は進捗状況や習熟度によって変わります。

<年間計画> 3年用

月	週	授 業 内 容
4	1	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	2	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	3	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
5	4	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	5	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	6	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	7	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
6	8	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	9	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	10	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	11	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
7	12	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	13	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。ビジネス文書実務検定試験
	14	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
8	15	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
		夏 季 休 業
9	16	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	17	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	18	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	19	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
10	20	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	21	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	22	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	23	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	24	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
11	25	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	26	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	27	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
	28	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。インターネットの効果的な活用
12	29	速度の入力練習。文書作成の練習。筆記問題対策学習。 ビジネス文書実務検定試験
	30	応用文書（年賀状・広告等）作成。インターネットの効果的な活用
	31	応用文書（年賀状・広告等）作成。インターネットの効果的な活用
1		冬 季 休 業
	32	応用文書（年賀状・広告等）作成。インターネットの効果的な活用
	33	応用文書（年賀状・広告等）作成。インターネットの効果的な活用
1	34	応用文書（年賀状・広告等）作成。インターネットの効果的な活用
	35	応用文書（年賀状・広告等）作成。インターネットの効果的な活用